2020年度 Unity講座(基礎編)

09回目

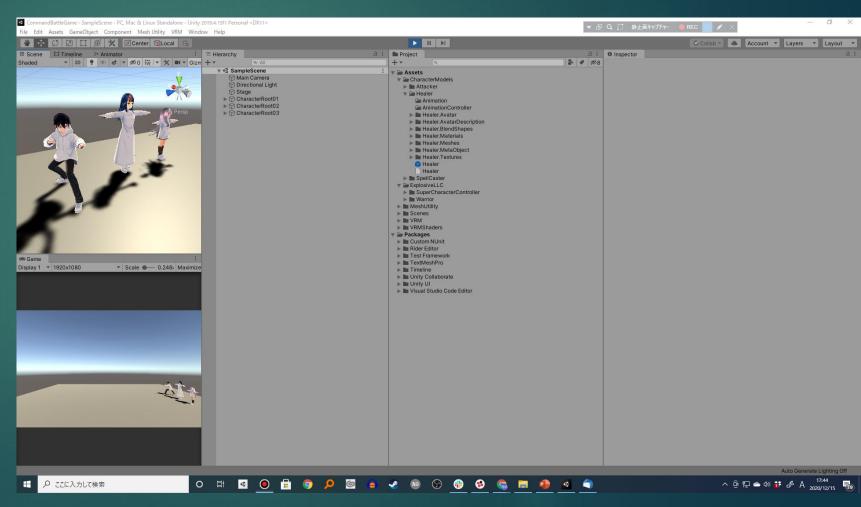
講師:幸田 将伍 (@MagurodonDev)

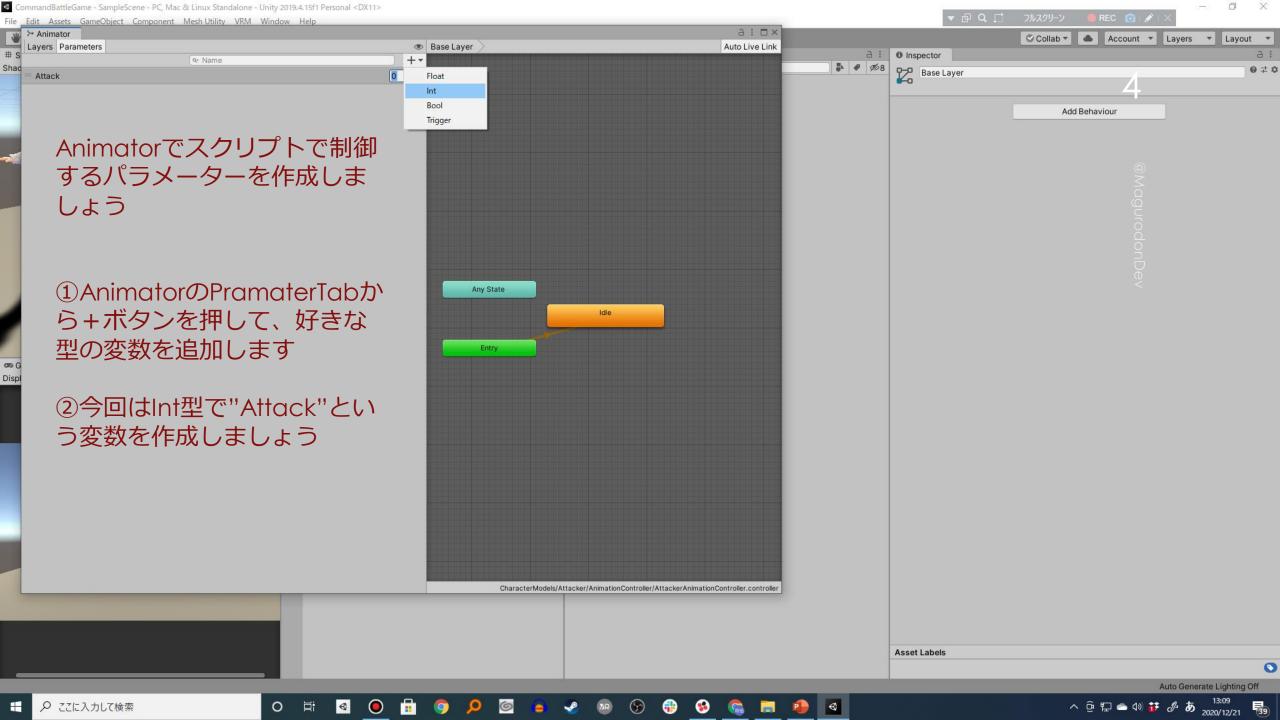
今回の講義の目的

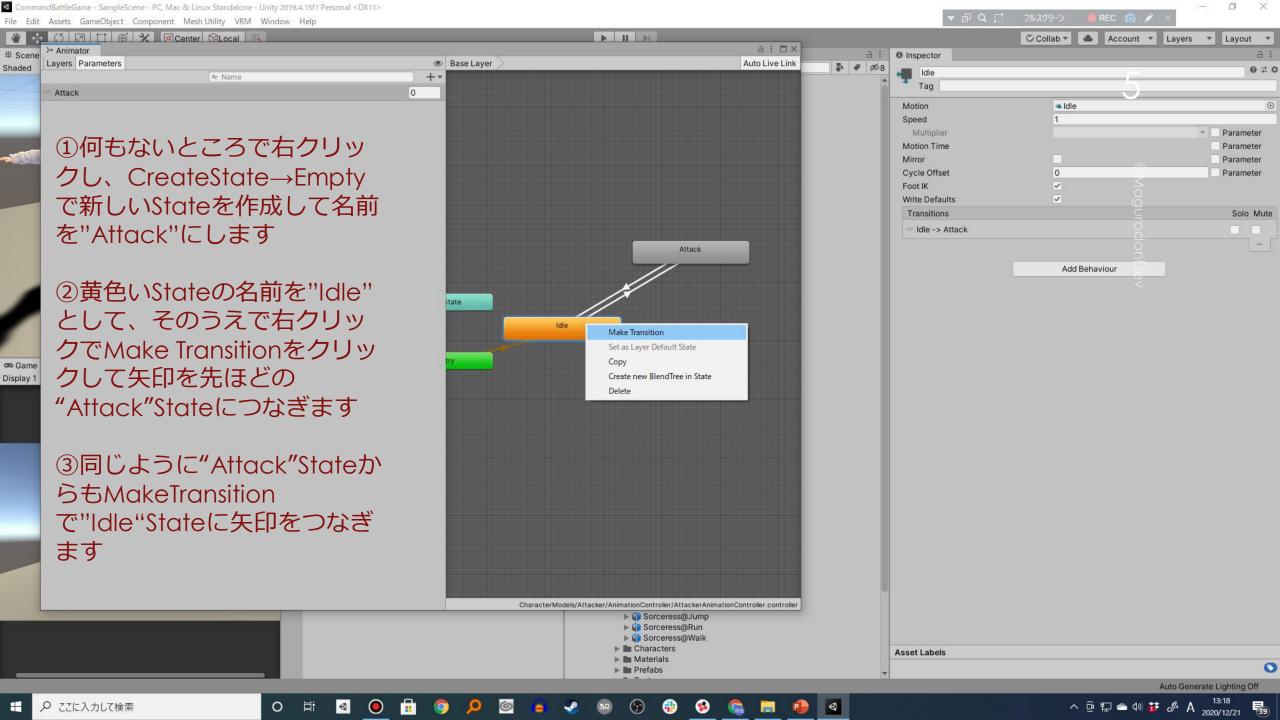
- プログラムを自分で読めるようになる
- ▶ Unityを使って自分が実現したいことをできるようになる
- 自分一人でもゲームを作成できるレベルになる
- ▶ Unityの活用事例を学び、自分の進路に役立てる
- ▶ 実際のエンジニアがどういった仕事の進め方をしているかを知る
- ゲーム会社のクライアントエンジニアとして就職できるレベルになる

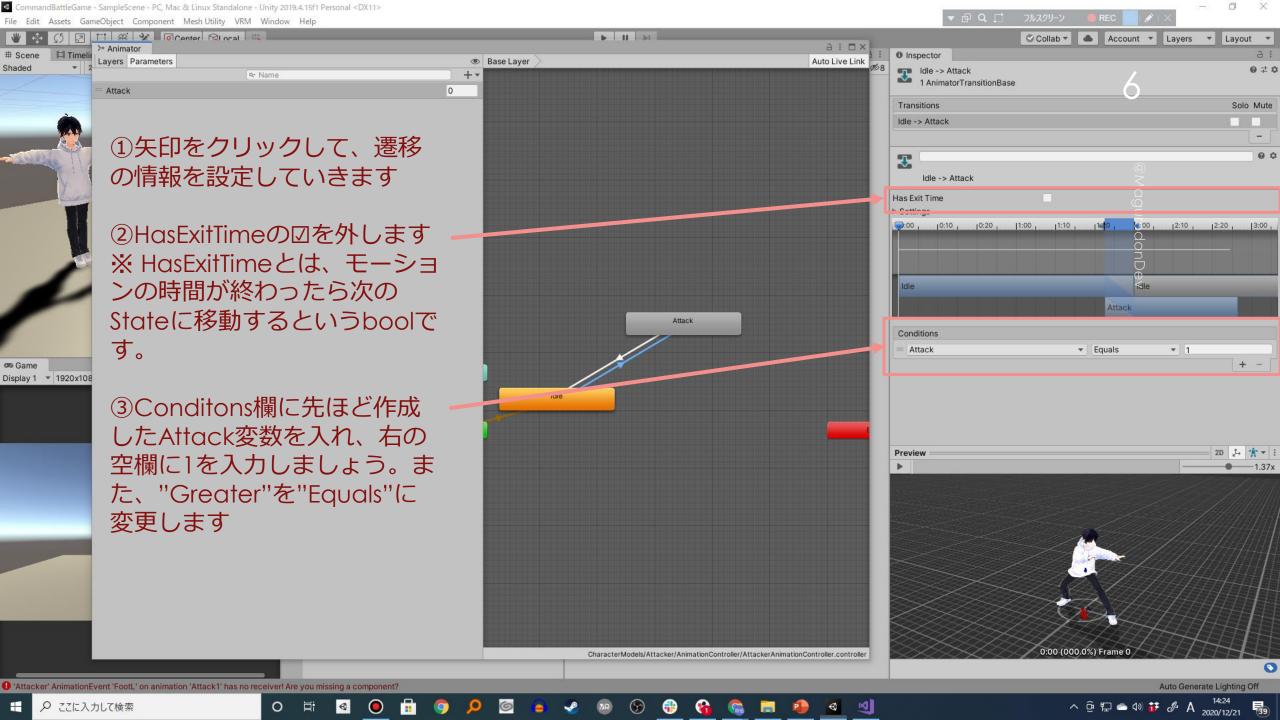
一緒にレベルアップして行きましょう!

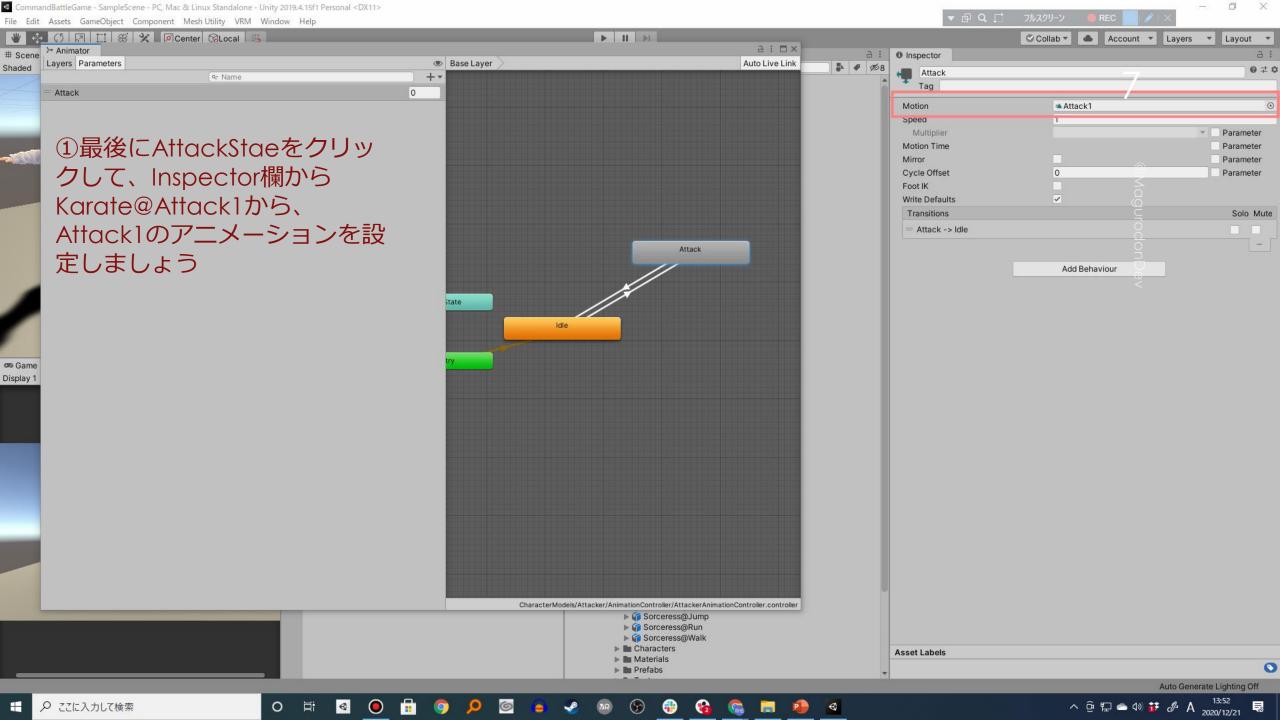
- 先週は3体のモデルを作成して、 そのうちの一体に対して、アニ メーションを設定しました
- 今回はアニメーションの設定、 並びに、敵のもとへ行って Attackerに攻撃を行わせるとこ ろまで行こうと思います
- Attackerの設定をしますので、 もし今日の授業が修了できれば 他の二体は宿題でやってみても らいます
- まずは、Attackerのアニメーションの設定をしていきましょう



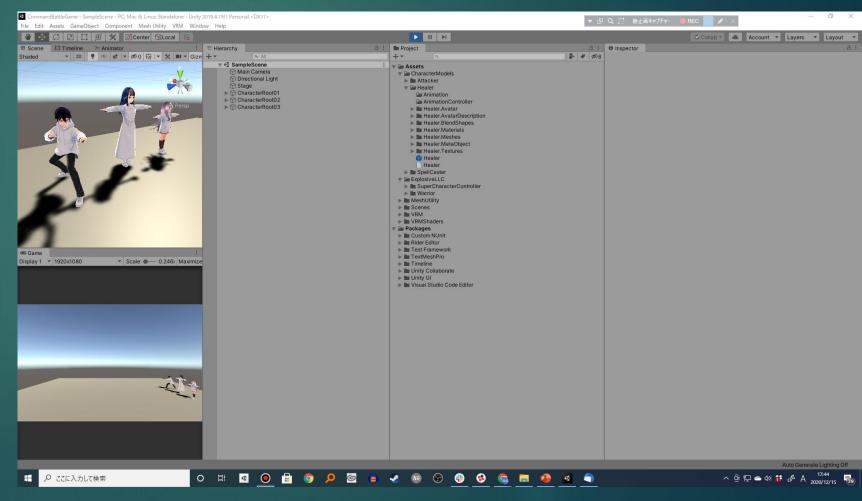


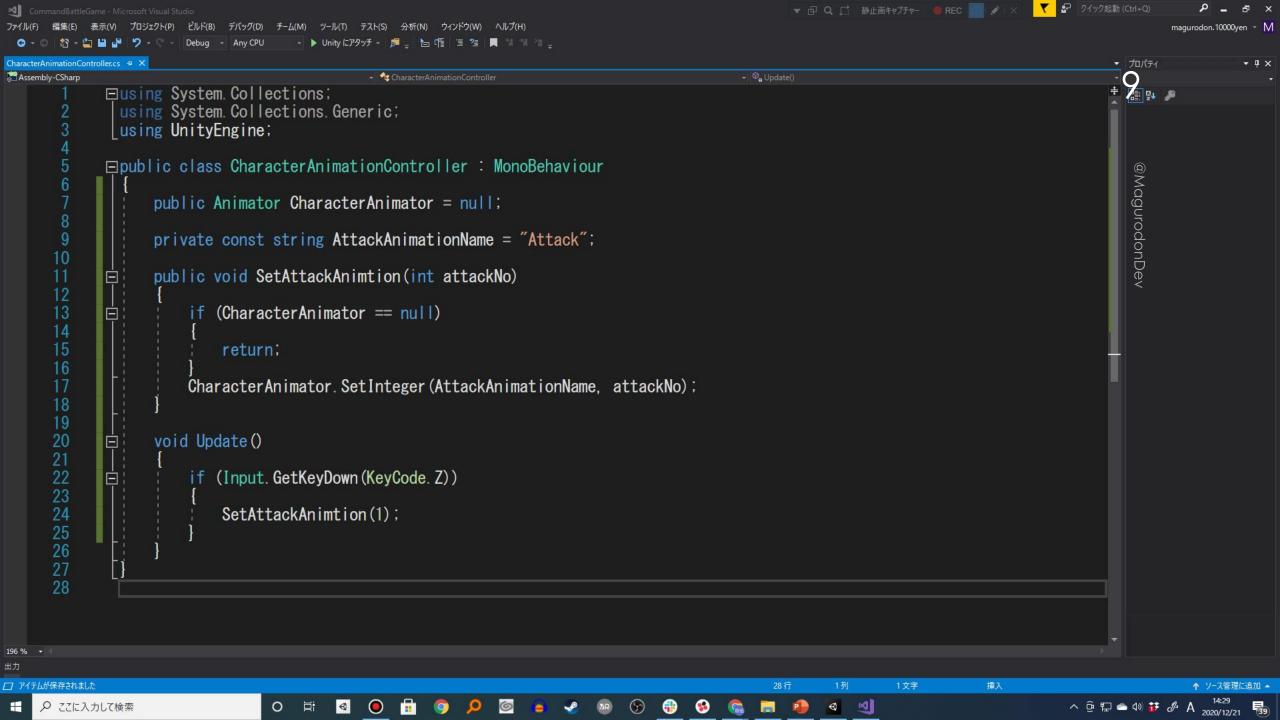






- ここまでできましたら、キャラ クターのAnimationを制御する スクリプトを書いていきます
- Assetsフォルダ以下にScripts フォルダを作成し、新しく CharacterAnimatonController.c sを作成しましょう

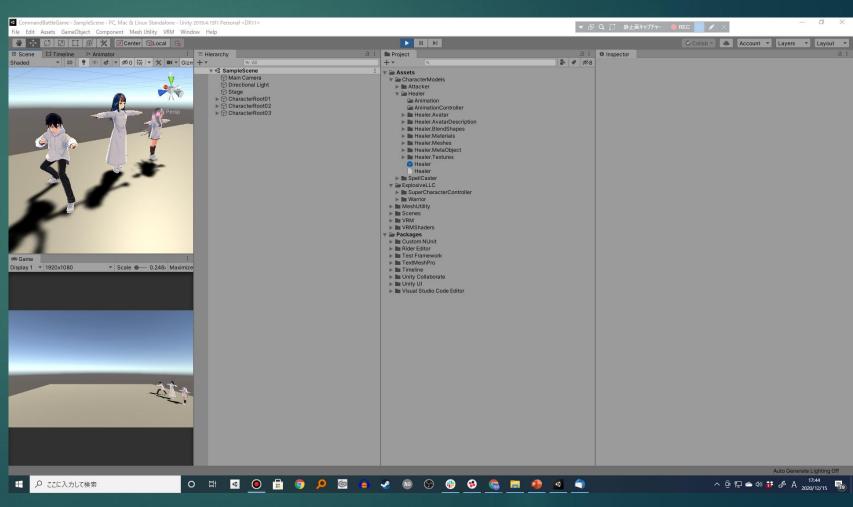


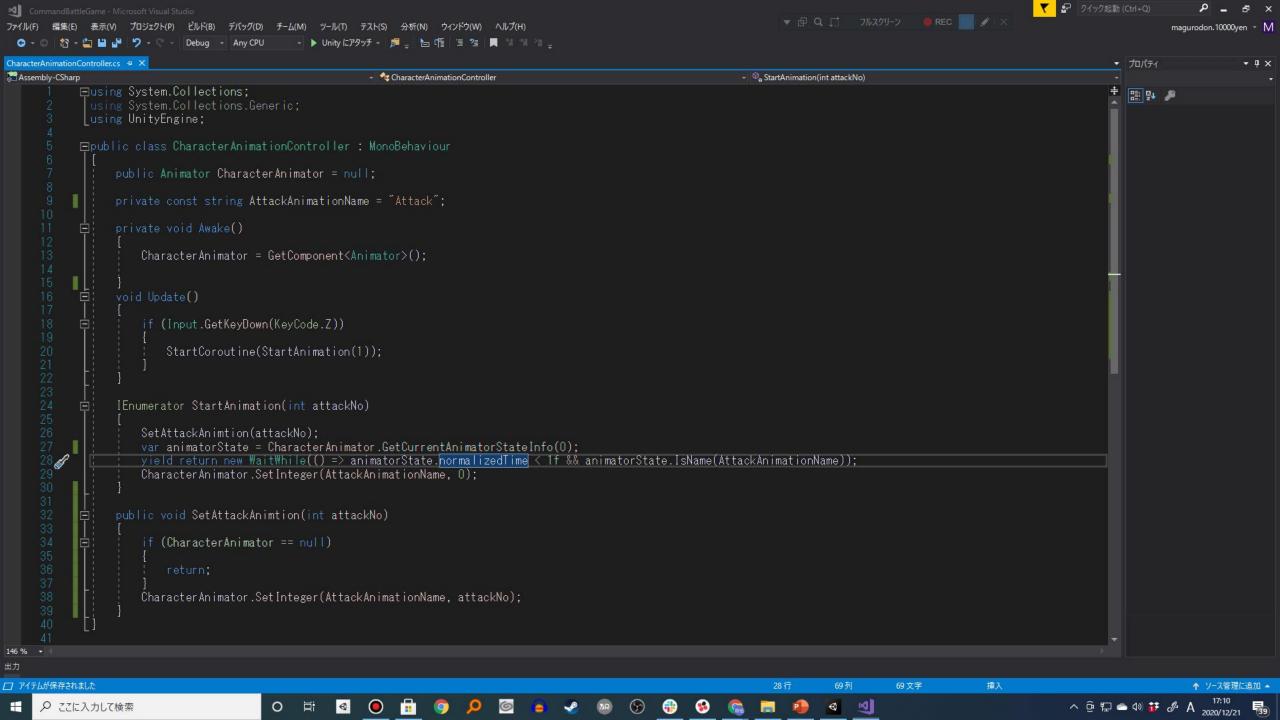


- ※Animator型
- Animatorで設定したフラグや値 を操作するクラスです
- 例)SetInteger("Name",1)
- "Name"のInt型の変数に1を設定 します
- 例) Setfloat("Name",0.1f)
- "Name"のfloat型の変数に0.1fを 設定します
- 例) Setbool("Name",false)
- "Name"のbool型の変数にfalse を設定します
- 例) SetTrigger("Name")
- "Name"のTriggerをオンにしま す→すぐにオフに変わります

```
▼ 🚰 クイック起動 (Ctrl+Q)
□using System Collections;
 using System. Collections. Generic;
using UnityEngine;
public Animator CharacterAnimator = null;
     private const string AttackAnimationName = "Attack";
     public void SetAttackAnimtion(int attackNo)
        if (CharacterAnimator == null)
        CharacterAnimator. SetInteger (AttackAnimationName, attackNo):
     void Update()
        if (Input. GetKeyDown (KeyCode. Z))
            SetAttackAnimtion(1);
```

- Attacker.prefabに CharacterAnimationController をAddCompornentします
- CharacterAnimatorを自身の Animatorで設定します
- 再生してZキーを押すと、アニメーションが再生されます
- (今の時点ではエラーは無視してください)
- ただ今のままですと、キャラクターがアニメーションをずーっと流し続けるので、戻さないといけません。
- アニメーションの待ちを実装しましょう。





- ※IEnumerator型
- 何かを条件などで待つ際には Coroutineを使うと良いです
- Coroutineで操作できる型を IEnumeratorと言います
- IEnumerator Hogehogeと続く 場合、何かを待ちたいんだな、 と読むことができます
- ※yield return new Hogehoge
- このHogehogeの部分にいろいると待つ条件が入りますので、 次ページで紹介していきます。

```
+ 🔡 🐉 🎤
             public Animator CharacterAnimator = null:
             private const string AttackAnimationName = "Attack";
                  CharacterAnimator = GetComponent<Animator>();
              IEnumerator StartAnimation(int attackNo)
                  var animatorState = CharacterAnimator.GetCurrentAnimatorStateInfo(0);
yield_return_new_WaitWhile(() => animatorState.hormalizedTime < 1f && animatorState.IsName(AttackAnimationName));
                  CharacterAnimator.SetInteger(AttackAnimationName, 0);
                  CharacterAnimator.SetInteger(AttackAnimationName, attackNo);
₽ ここに入力して検索
```

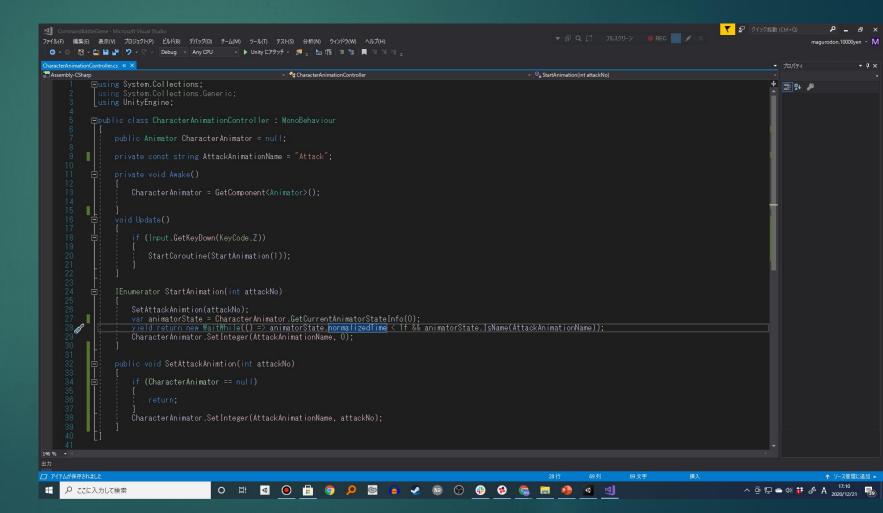
- ※WaitForSecounds(float)
- 秒数で待ちます
- ※WaitWhile(()=>条件)
- 条件の間待ちます
- ※WaitUntil(()=>条件)
- 条件になるまで待ちます
- ※WaitForEndOfFrame()
- 1フレームの終わりまで待ちます

```
ファイル(F) 編集(E) 表示(N) プロジェクト(P) ピルド(B) デバッグ(D) チーム(M) ツール(T) テスト(S) 分析(N) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
                                                                                                                                         StartAnimation(int attackNo)
                                                                                                                                                                                                           + 🔡 🖫
                   private const string AttackAnimationName = "Attack";
                        CharacterAnimator = GetComponent<Animator>();
                         if (Input.GetKeyDown(KeyCode.Z))
                        var animatorState = CharacterAnimator.GetCurrentAnimatorStateInfo(0);
yield_return_new_WaitWhile(() => animatorState_hormalizedTime < 1f && animatorState.IsName(AttackAnimationName));
                        Character Animator. Set Integer (Attack Animation Name, 0);
                        CharacterAnimator.SetInteger(AttackAnimationName, attackNo);
     ₽ ここに入力して検索
```

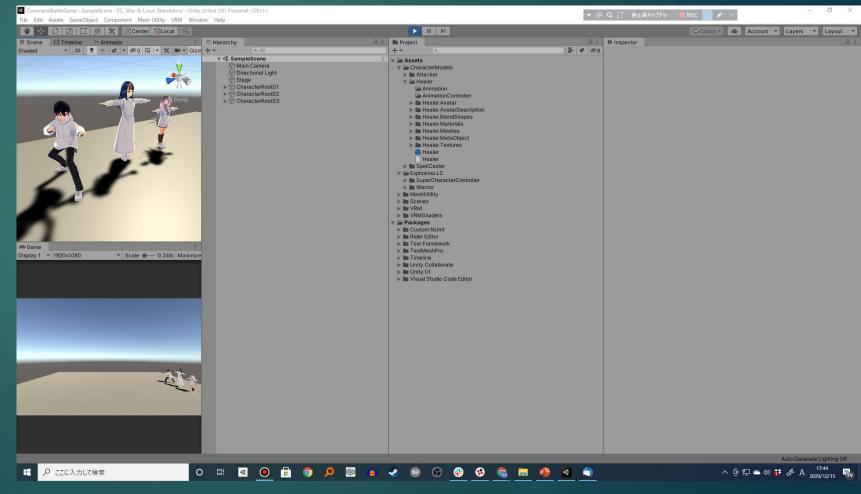
Unity

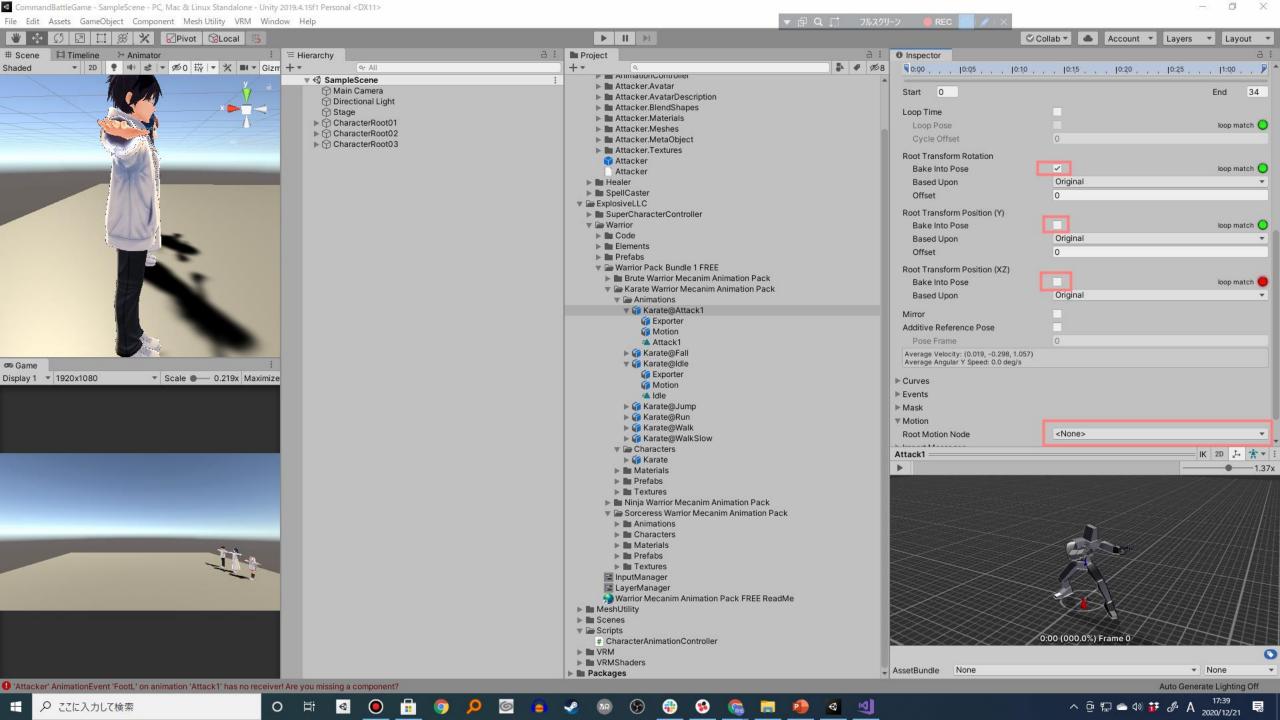
コマンドバトルゲーム

- 今回の場合は、アニメーションのStateの正規化された時間が1以下の場合で、かつ、Animationの名前が"Attack"の間、待つという処理を行いました
- 正規化とはどういうことか
- モーションの時間はバラバラなので、それを正規化すると0から1fまでのfloat型で取ることができます。
- 0が始まりで、1fを超えるとアニメーションは終了しているという感じで判定することができます

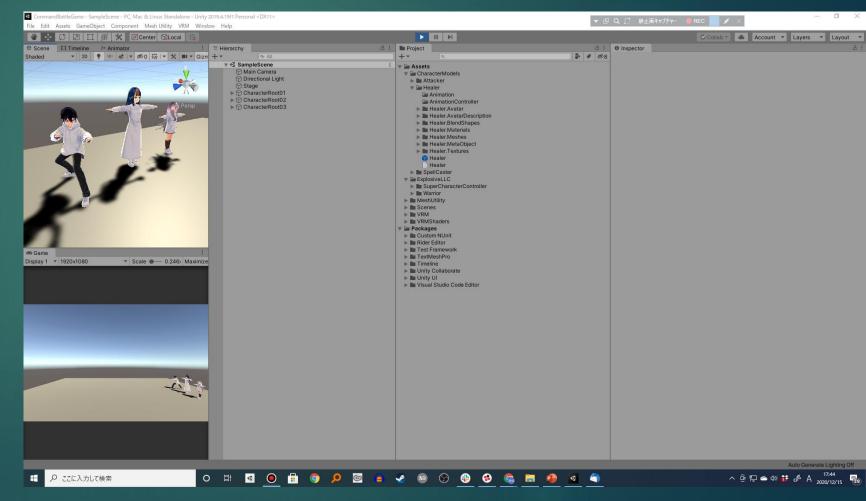


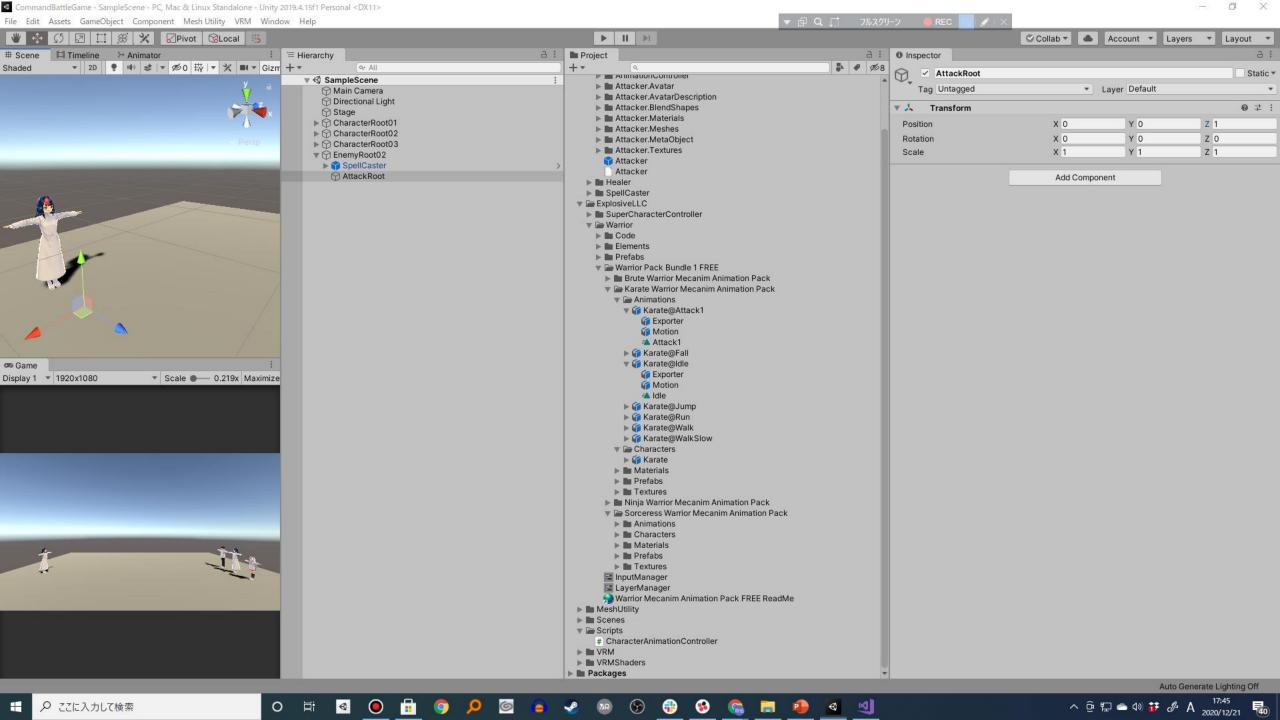
- では、Zキーを押すと一度だけ、 アニメーションが再生されることになると思います
- この時、アニメーションが前に 進んでしまうことがありますの で、モーションの調整をしてい きます
- まあ基本的にはデザイナーさん の仕事なのですが、こちらで触 る場合もありますのでお伝えし ておきます



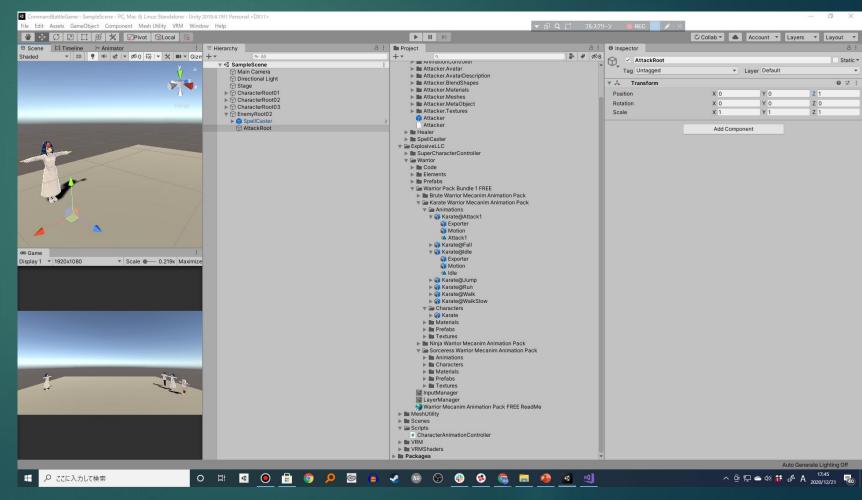


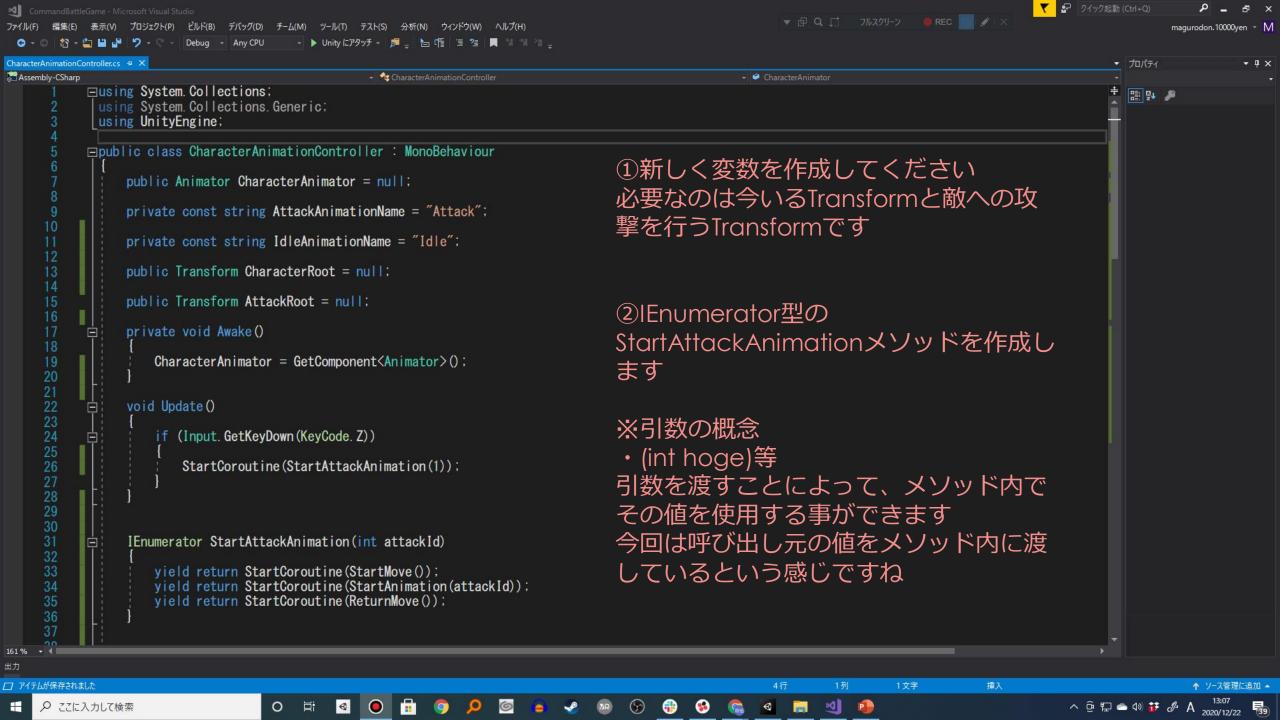
- 次に、敵のルートを作成して、 そこまでAttackerがいけるよう にします
- CharacterRoot02をCtrl+Dで複製し、EnemyRoot02として、配置します
- Position
- X:-7 y:-2 z:0
- そして、EnemyRoot2の直下に AttackRootを設定します

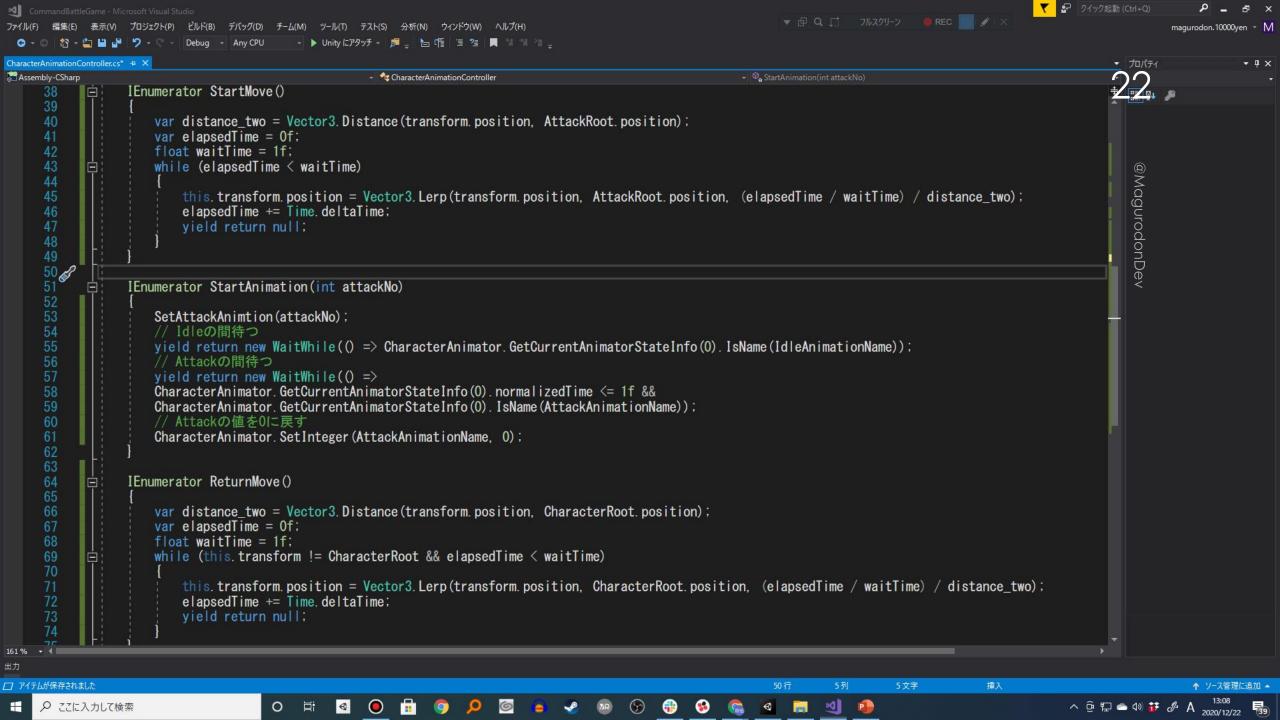




- AttackRootの役割はAttackerが AttackerRootの場所まで移動で して、その後攻撃を行うという 役割をします
- 次はスクリプトで制御していきます
- CharacterAnimationControllerを修正していきます



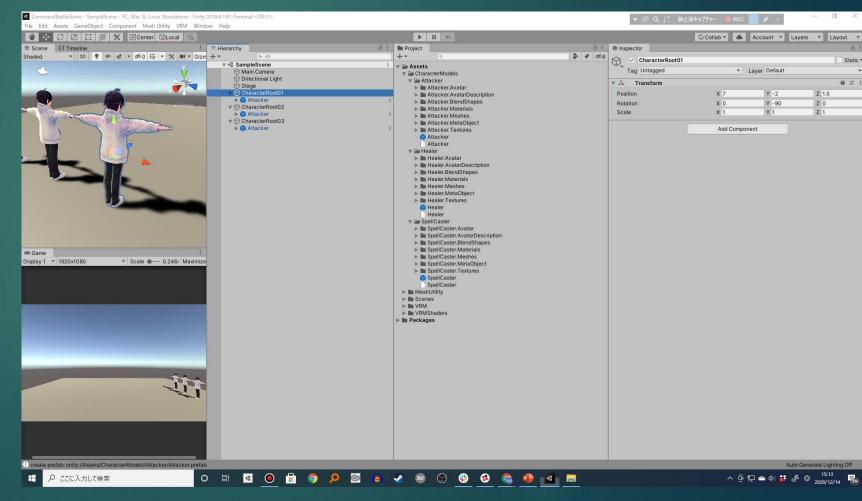


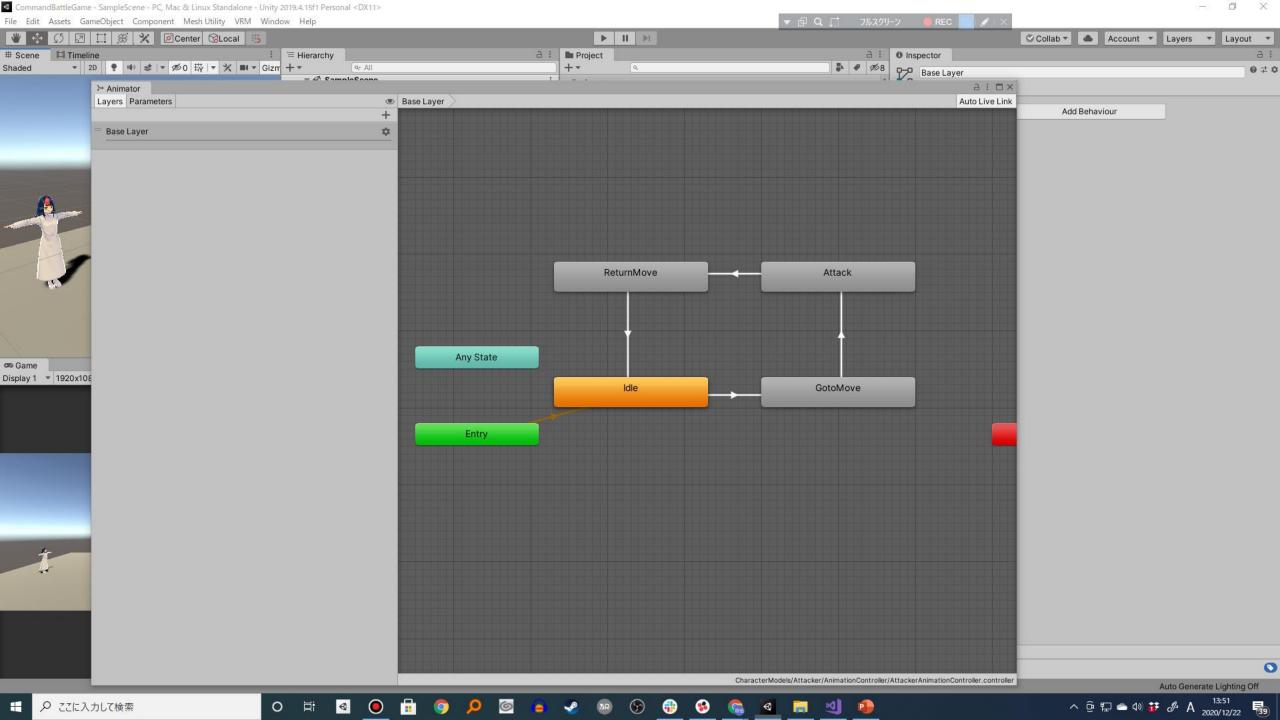


- ※Vector3.Distance(P1,P2)
- P1からP2までの距離をfloatで 返してくれます
- ※while(条件){return null;}
- while文という、条件の間待つと いう構文です
- XVector3.Lerp(P1,P2,Time)
- P1からP2をなめらかに移動させ ます
- **Animator.GetCurrentAnimat orStateInfo(int)
- 現在のAnimatorの状態を取得し ます

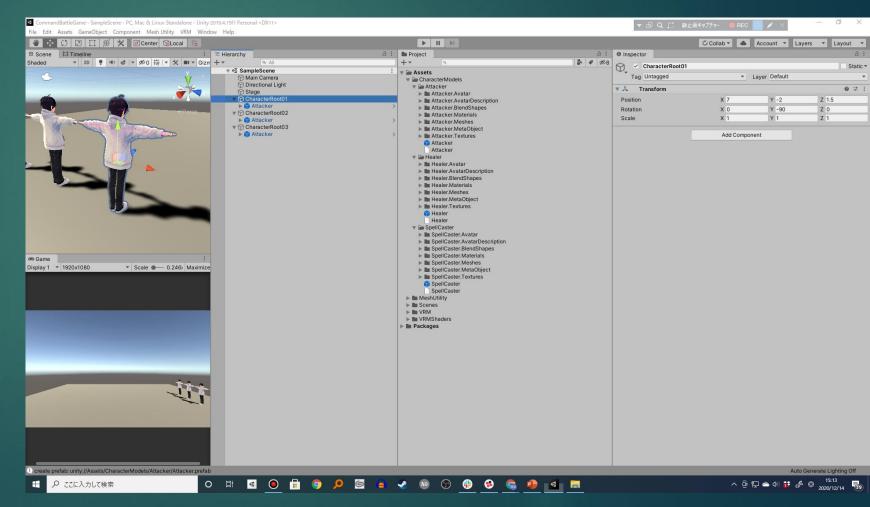
```
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) プロジェクト(P) ビルド(B) デバッグ(D) チーム(M) ツール(T) テスト(S) 分析(N) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
                                                       tharacterAnimationController
                  IEnumerator StartMove()
                                                                                                                                                                      + 🔡 🖫
                      var distance_two = Vector3. Distance(transform. position, AttackRoot. position);
                      float waitTime = 1f;
                      while (elapsedTime < waitTime)</pre>
                          this. transform. position = Vector3. Lerp (transform. position, AttackRoot. position, (elapsedTime / waitTime) / distance_two);
                         elapsedTime += Time. deltaTime;
                          yield return null:
                  IEnumerator StartAnimation(int attackNo)
                     SetAttackAnimtion(attackNo);
                      // Idleの間待つ
                     yield return new WaitWhile(() => CharacterAnimator.GetCurrentAnimatorStateInfo(0).IsName(IdleAnimationName));
                     yield return new WaitWhile(() =>
                      CharacterAnimator.GetCurrentAnimatorStateInfo(0).normalizedTime <= 1f &&
                     CharacterAnimator. GetCurrentAnimatorStateInfo(0). IsName(AttackAnimationName));
                      Character Animator. SetInteger (Attack Animation Name, 0);
                  IEnumerator ReturnMove()
                      var distance two = Vector3. Distance (transform, position, CharacterRoot, position);
                      var elapsedTime = Of;
                     float waitTime = 1f;
                      while (this transform != CharacterRoot && elapsedTime < waitTime)</pre>
                         this transform position = Vector3. Lerp (transform position, CharacterRoot position, (elapsedTime / waitTime) / distance_two);
                         elapsedTime += Time. deltaTime;
                          vield return null;
⊕ ♀ ここに入力して検索
```

- Unity上でAttackerの CharacterRootとAttackRootを 設定して、再生してください
- Attackerが1秒でAttackRootまで行って攻撃モーションを行い、 戻ってくるまでを実装できたと 思います
- 次は行きのモーションと帰りの モーションを設定しましょう





- 先ほどと違い、Animationを入れるとなると新しくStateを作成する必要があります
- ここからは先ほどまでお伝えしたことを使って、正しく動作するようにしてみてください
- 主な手順としては以下
- ①Stateに移動する際のAttackの 値を変える
- ②スクリプトで調整
- ここまでできましたら本日は終 了です



- もし、先ほどの修正が終わった 場合、他の三人のアニメーションの調整も行ってください。
- CharacterAnimationController の中で自分がAddされているの はAttackerかHealerか SpellCasterを判定し、または指 定してアニメーションのコント ロールを行ってみましょう

